

# 「平成30年度 学校評価実施報告書」

学校（園）名（ 鳴門市撫養小学校 ）  
 学校（園）長名（ 八 田 博 印 ）

## 1 平成30年度 重点評価項目

課題をもって、主体的に取り組む子どもの育成

## 2 アンケート評価

対 象	実施日（期間）
教職員	平成31年1月21日～平成31年1月25日
児童・生徒	平成30年11月30日～12月7日
保護者	平成30年11月30日～12月7日
地域・その他	平成31年2月18日

## 3 自己評価

評 価 日	平成31年2月17日
評価者・組織（名称）	全教職員・学校評価検討会
プラスの評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進んで運動し、体力づくりをする割合が上昇した。</li> <li>○宿題をきちんとする割合がまた上昇した。</li> <li>○自分の判断で、行動する割合が上昇した。</li> <li>○朝は、決まった時間に起きている割合が上昇した。</li> <li>○学級の係や当番の仕事、そうじなどに、積極的に取り組んでいる割合が上昇した。</li> <li>○学校のスローガンである3Lの3つの言葉を知っている割合が上昇した。</li> <li>○仲良しの友だちがいる割合が上昇した。</li> </ul>
マイナスの評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもは、学校の勉強に意欲的に取り組んでいると思う保護者の割合が上昇した。</li> <li>○毎日の授業を分かりやすく教えてくれると感じる児童の割合がやや下降した。</li> <li>○授業中、人の話を集中して聞いていると感じる児童の割合がやや下降した。</li> <li>○勉強や運動、生活でがんばったときほめてくれると感じる児童の割合がやや下降した。</li> <li>○先生は、困ったり悩んだりしたときに、相談ののってくれると感じる児童の割合がやや下降した。</li> <li>○学校へ行くのが楽しいと感じる児童や保護者の割合がやや下降した。</li> <li>○子どもの学習規律の定着に熱心に取り組んでいると感じる保護者の割合が下降した。</li> <li>○子どもは、楽しんで学校に行っていると感じる保護者の割合が下降した。</li> <li>○子どもと社会や将来のことを話合っている保護者の割合が下降した。</li> <li>○いじめや生徒指導の問題について素早く対応してくれると感じる保護者の割合が下降した。</li> </ul>
改善方策・意見	学級によりアンケート結果に他学級や他学年と大きな違いが見られる。特にトラブルへの対応状況でそのことが顕著である。より良い教育を推進するには、正常な学級経営が不可欠である。
公表日・方法	3月上旬に学校だよりに掲載し、保護者へ配布する。同時にホームページに掲載する。

#### 4 学校関係者評価

評価日	平成31年2月16日
評価者・組織(名称)	撫養小学校学校評議員・学校評価委員会
プラスの評価	○評価結果は全体的によいものであり、学校はよく努力していることがわかる。 ○いくつもの取り組みがマスコミでも紹介され、非常に嬉しい。 ○PTA活動が盛んであり、先生方と保護者が子どもたちのために連携し懸命に取り組んでいるのはすばらしい。 ○先生方は様々な問題に、苦勞しながらよく対応してくれている。
マイナスの評価	○昨年度より良い評価結果の割合が落ちている項目が多く見られるのは残念である。 ○トラブルには当然真逆の立場が生まれるし、その解決は難しいだろうが、双方が納得するようなものになるよう努めてほしい。先生のご苦勞もわかるが、今後も生活指導を大切に進めてほしい。
改善方策・意見	撫養地域にもっと関わりを持てる、魅力ある活動を起こす必要があるのではないか。 親子の対話をもっと活発になるよう、学校からも働きかけてほしい。
公表日・方法	2月下旬に学校だよりに掲載し、保護者へ配布する。同時にホームページに掲載する。

#### 5 総括・次年度の課題

本年度はいくつかの学級において、児童間のトラブルが発生し、その対応について保護者からの訴えが頻発した。児童や保護者のアンケート調査結果は、トラブルの解決方法や事案の変容に対する考え方の違いなどに影響されている面もあるだろうが、児童や保護者意識の概要を捉えることが出来た。一つ一つの項目について考察し、向上を図る具体策を検討していく。